

おおあさ支部報

第115号

笠間市社会福祉協議会大旭支部
発行 大旭支部長 小野 武
編集 大旭支部広報委員会
発行日 平成30年8月10日
印刷 有限会社大塩企画



本多言語聴覚士による誤嚥性肺炎防止の指導

女性部・にじの会（渡辺米子会長）が中心となって、地域の高齢者の親睦と交流を深めていくことなどを目的とした支援事業で、小野支部長は

市社会福祉協議会大旭支部（小野武支部長）の「高齢者の居場所づくり事業」は、市の支援を受けて今年4月から始まり、回を重ねていく毎に参加者も増えつづけ、3回目の今回は総勢55人が参加して、6月14日に旭崎新農村集落センターで盛況に開かれました。

予防の知識を身に付けて 支援事業に関心高まる



メイン料理：ちらしずし

「介護予防、認知症予防のための体操や軽運動等の活動、会食などが主な事業としており、一人でも多くの皆さんに参加してもらえよう、支部としてPRしていきたい」とあいさつしました。

今回は、この春にオープンした市立病院から春田淳志医師、本多淑恵言語聴覚士、市保健センターから糸屋明子さん、地域包括支援センターから竹江崇・矢口勝博氏らが指導にかけつけ、本多言語聴覚士が、誤嚥性肺炎の予防について分かりやすく説明『誤

嚥性肺炎とは食べ物や唾液が気管から肺に入り、肺炎を引き起こす病気、症状がゆつくりとあらわれることが多いこと、また、座っていても簡単に出来る舌の体操、首や肩・顔の体操など、家でもどこでも気軽にできる体操や、誤嚥性肺炎を防ぐには、ご飯を食べる力をつけること・気管から異物を吐き出す力をつける

ことなど』を、高齢者に指導されました。

昼食は、女性部が前日から準備し、当日に心をこめて調理したちらしずし・おすいもが出され、おかわりをするほどの大好評で、参加者全員が残さず完食、次回もぜひ参加したいと、来月の開催を心待ちに散会しました。



参加された皆さんと一緒に

「ふれあいサロンなごみ」の旗をかがけ活動しています。

平成30年度支部代議員会

平成30年5月12日、笠間市地域福祉センターともべにおいて、平成30年度代議員会が開催されました。

小野武支部長の主催者あいさつ続き、笠間市社会福祉協議会から3人の出席者を代表して、藤枝泰文事務局長から来賓のあいさつをいただき、議事に入りました。

最初に、平成29年度事業報告・収支決算報告があり、原案どおり承認されました。次に、平成30年度事業計画・収支予算が提案され、原案どおり議決されました。

なお審議の経過は、4案ともに活発な質疑応答が交わされました。

その概要は次の通りです。

平成29年度事業報告および収支決算報告について

1、事業報告について

「にじの会」の配食サービス、子ども会育成会・高齢者クラブ・三代交流会への支援等々、数多くの事業を実施して来しました。

なかでも、配食サービスや学校安全ボランティアの下校時見守り活動は「高齢者や児童の、安心・安全を守る地域活動の成果」として、関係者から多大な感謝を得ています。

2、収支決算報告について

別記収支決算書の通りです。

平成30年度事業計画・役員改選および収支予算について

平成30年度 笠間市社協大旭支部 役員名簿

役職		氏 名	
支部役員	支部長	小野 武	
	副支部長	川澄真二郎 狩谷 博道 渡辺 米子	
	会 計	納 米次	
	監 事	菅原 毅 井川小夜子	
	支部委員代表	鯉渕 勲 (矢野下藤株) 後藤 政見 (大沢上2) 米納 信治 (大沢下2) 今野 豊雄 (若狭山団地) 大垣 茂 (旭平1) 青木 清 (旭台団地4)	
	部門委員代表	大垣 茂 菊池美智子 鈴木 勝義 青木 清 菊池 三男 田中 敬一 渡辺 米子 伊藤由美子 吉田 正次 調 朝幸	
支部委員 (区長)		鯉渕 勲 (矢野下藤株) 横田 正男 (アクシーズタワー旭台) 木村 孝 (矢野下郷) 野田 達也 (旭台団地1) 矢部 厚 (大沢上1) 吉田 正次 (旭台団地2) 後藤 政見 (大沢上2) 原 省三 (旭台団地3) 大村 泰弘 (大沢上3) 青木 清 (旭台団地4) 川井 一郎 (大沢下1) 大垣 茂 (旭平1) 米納 信治 (大沢下2) 粕谷 靖 (旭平2) 塩田 正志 (八幡台1) 高橋 済 (旭平団地) 藤田 忠靖 (八幡台2) 白田 良夫 (緑ヶ丘団地) 加倉井清隆 (原団地) 高間 香 (旭崎1) 伊藤 芳郎 (清住町) 中野庄一郎 (旭崎2) 今野 豊雄 (若狭山団地) 久保田三夫 (サンステージ区) 大高 信昭 (旭台) 小野寺正志 (矢野下本郷)	
部門委員 (代表)	総務委員	◎大垣 茂 ○菊池美智子 米納 信治 塩田 正志 藤田 忠靖 今野 豊雄 野田 達也 原 省三 高間 香 辻 睦美 小野寺正志 横田 正男 矢部 厚	
	高齢・身障員	◎鈴木 勝義 ○青木 清 加倉井清隆 後藤 政見 大村 泰弘 川井 一郎 高橋 済 阿部 幸雄 中野庄一郎 伊藤 芳郎 久保田三夫 白田 良夫 粕谷 靖	
	児童・環境員	◎菊池 三男 ○田中 敬一 鯉渕 勲 木村 孝 鈴木 重雄 巻田 吉史 大高 信昭 齋藤 清 成田 恵子 園部 敏子 槇 渉 大和田 勉 寺門 常康	
	女性部 (にじの会)	◎渡辺 米子 ○伊藤由美子 大澤わか子 園部 弘子	
	広報委員	◎吉田 正次 ○調 朝幸 岩田 幸雄 米田 智子	

部門委員：◎委員長、○副委員長

活動方針として『ふれあい・たすけ合い・思いやり』を掲げて、地域に密着した活動を展開します。

①事業計画の主なもの

○女性部（にじの会）の活動

配食を通じた見守りや、ふれあい食事会の活動による高齢者の支援。新規開設の『ふれあいサロンなど』の活動が、期待されています。

○児童の健全育成活動

下校時見守り活動、三世代ふれあいのつどい、子ども会育成会との懇談会等による、児童の育成支援。

○高齢者、在宅介護者に対する活動
グラウンドゴルフ大会実施による健康維持増進の支援

『在宅介護者とのふれあいサロン』の開催による介護者への支援

○広報活動の推進

広報誌「おおあさひ」の発行。

○役員改選について

新任の行政区長を支部委員に加えた新体制は、別紙名簿の通りです。

②収支予算編成とお礼について

経費削減により繰越金が確保され、前年同様の予算を編成できました。

支部の財政は、地域の皆様方の会員会費により運営されており、会員の皆様方のご理解とご協力に、あらためまして感謝申し上げます。

平成29年度 決算報告

自：平成29年4月 1日
至：平成30年3月31日 単位：円

収入の部

項 目	予 算 額	決 算 額	予算比	付 記
繰 越 金	619,062	619,062	0	
会 員 会 費 還 元 金	1,000,000	969,500	△ 30,500	社会福祉協議会
福 祉 コ ミ ュ ニ テ イ	50,000	50,000	0	社会福祉協議会
広 報 助 成 金	100,000	96,950	△ 3,050	社会福祉協議会
寄 付 金	5,000	0	△ 5,000	
雑 収 入	5,000	5,007	7	グラウンドゴルフ祝金・預金利息
合 計	1,779,062	1,740,519	△ 38,543	

支出の部

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	予算比	付 記
会 議 費	30,000	21,816	△ 8,184	
総 務 費	30,000	30,000	0	
通 信 費	15,000	15,000	0	
消 耗 品 費	10,000	2,460	△ 7,540	
事 業 費	960,000	807,609	△ 152,391	
(事業費内訳) 児 童 育 成 費	150,000	74,810	△ 75,190	子供会助成 7団体：61,400 太陽・旭台・旭台団地 旭崎・旭平・青空・矢野下 球技大会祝金：0 ふれあいクラブ：休会
高 齢 者 ク ラ ブ 助 成	80,000	80,000	0	8団体：80,000円/団体 寿会・若狭山・ときわ会・三友会・ 新生会・ふれあい・睦会・ひので会
グラウンドゴルフ大会	40,000	30,123	△ 9,877	参加費・賞品代：18,224 昼 食 代：11,899
に じ の 会 活 動 費	130,000	137,473	7,473	総 会 費：59,023 研 修 会 費：78,450
地 区 ふ れ あ い 交 流 会 費	130,000	95,000	△ 35,000	4地区開催 旭台団地・旭平2区・旭台区・旭崎1区
在 宅 福 祉 活 動 費	380,000	370,203	△ 9,797	配食サービス【約40食/回】：258,027 80歳以上食事会：77,436 在宅介護者記念品：24,840 サロン設立準備：9,900
ふれあい交流会費	50,000	50,000	0	友二小三世代交流
研 修 費	110,000	82,980	△ 27,020	国宝妻沼聖天山・埼玉古墳群
支 部 広 報 発 行 費	190,000	190,000	0	3回/年・他（諸経費）
負 担 費	4,000	4,200	200	ボランティア保険
予 備 費	430,062	0	△ 430,062	
合 計	1,779,062	1,154,065	△ 624,997	

平成29年度 収支

収入合計：1,740,519円 - 支出合計：1,154,065円 = 差引残高：586,454円

収入・支出差し引き残高 586,454円は次年度へ繰越する。

子ども会の減少に懸念

子ども会育成会代表者と大旭支部との懇談会

6月30日(土) 笠間市地域福祉センターともべで、子ども会育成会代表者と大旭支部との懇談会が開かれ、7団体の子ども会の会長、区長、民生・児童委員、支部役員、来賓の方々が出席され、活発な意見が交わされました。

開会の言葉に続いて、小野武支部長より「校長先生、教頭先生のご出席ありがとうございます。観測史上はじめての6月中のつゆ明けとなりました。……とあいさつがあり、懇談会にはいりました。この懇談会に出席した子ども会育成会は、7団体で、前年度の事業活動報告や本年度の活動方針を発表しました。事業活動の主なもの、廃品回収、花壇への花植え、三世代交流会、田植え・稲刈り、歓送迎会……等でした。活動方針としては、共同作業を通じて子どもたちに働く喜びを知ってもらう。

水泳訓練、ラジオ体操などに参加し、元気で丈夫な体をつくる。

三世代交流会、食事会、歓送迎会などでの交流を通じ、横のつながりを大切にする。各種の事業を通じて、他地域の人たちとの交流のなかで、視野を広げる……。などの内容がもりこまれていました。

長堀成子校長先生からは「子どもの時、みんなで海に連れて行って貰った体験があり、友達と遊んだ思い出が忘れられません。現代は、家庭を中心にした縦のつながりで楽しむことが多いようです。学校で出来る事は、横につながる楽しさを伝えることです」という講評があり、最後に第二小学校区長会の皆さんによる学校の草刈り、学校安全ボランティアの皆さんによる児童の見守り活動にお礼を述べられました。



育成会代表者による活動報告(右手前は、教頭先生と校長先生)

フリートークでは、問題提起された「子ども会々員の減少や、役員を引き受けてくれない」等に対し、いろいろな意見や指導があり、活発な懇談会となりましたが、結論が出るまでには至りませんでした。

今回は、縦のつながり(家族)と横のつながり(子ども会・地域行事)のバランスがうまくとれていることが、子どもたちの成長にとって大切であることを知りました。

学校安全ボランティアを募集しています

当支部では、児童の健全育成事業の一環として、友部第二小学校と連携し、児童が安心して登下校できる環境づくりに努めております。

この活動は当初「学童見守り隊」として発足。そののちに「学校安全ボランティア制度」として、平成26年度に再結成されました。以来、ボランティアの皆さんによって、児童の安心・安全な状態が保たれております。

一方最近、高齢化等のため活動に支障をきたしている方も、見受けられます。

今回区長さん方の協力を得てボランティアさんに活動継続の確認と、新しい協力者を募っていた、制度の充実強化を進めております。

活動に参加される方は、8月20日(月)までに左記の連絡先へ申し出下さいますようお願いいたします。

支部長 小野 武
連絡先・笠間市社会福祉協議会
電話：0296770730

新しい広報委員です

本年度から広報委員となりました、米田智子です。

長く児童福祉にたずさわってききましたが、これからは地域のこと・広報のことなど、先輩方に教わりながら、少しでもお役にたちたいと思っております。

どうぞよろしく、お願いいたします。

あとがき

「ふれあいサロンなごみ」

が開設されて3回目の会場に、市内の各機関から関係者が大勢訪れました。

◎主催者側が健康講座を依頼した、笠間市民病院・同保健センター・笠間市地域包括支援センターの皆様。

◎取材者の笠間市役所秘書課・笠間市社協広報委員会・同大旭支部広報委員会。「ふれあいサロンなごみ」の活動が、社会的課題を解決するために大切な取組みであることが、身近に感じられました。